

この本の中には、「かせんみずべ 河川水辺のこくせいちょうさ 国勢調査」の結果から、関川でよく見られる動植物について、以下のように説明しています。

例

種名 タヌキ (ムジナ)



動植物の和名、ただし、一部の植物では、群落名もある。

上越地方での呼び名
植物は花の季節、動物はよく見られるところ

各種の図面上での形
動植物の写真または絵

動植物の一般的な解説
かせんみずべ 河川水辺のこくせいちょうさ 国勢調査

人里近くの、こうようじゅりん 広葉樹林の林の中にすんでいて、沢や川の、水に近いところに好んですんでいます。ざっしょくせい 雑食性で、木の実から小動物、人間の残飯まで、いろいろな物を食べます。

河口のあたりをのぞいて、関川の全地域で見つかりました。なかでも、かすがやま 春日山橋の上流のあたりにたくさんすんでいて、あしあと 足跡がよく見られました。餌を採るときや、移動の時に、川にやってきます。